

なな

2月号
vol. 180

特集

Job なな

ジョブ
なり

第1回 理容師のしごと

「日本の音色」
太鼓正(浪速区塩草)にて撮影



ジョブなり

「これが私の仕事也」。
17,000以上もある日本の仕事のなかから、西成で働く人々の仕事の流儀を学んでみよう。誇りを持って仕事をするってどんなだろう？
そんな仕事を学べる時間はけっこう少ないのかも。

第1回 理容師のシノハラ ✂

チヨキチヨキチヨキと耳元で小気味のいい音が聞こえる。髪を切っているときはこの音を聞くのが好きだ。新年を新しい気分を迎えるために最近髪を切った人も多かったろう。

髪型は人の印象に大きな影響を与え、他人に切ってもらわなければ自分が望む髪型をつくることは難しい。今回は私たちの生活に欠かせない仕事である理容師に注目し、65年以上

前から西成区で理容室を営む「シノハラ理容」の店主・篠原久代さんを訪ねた。ちなみに理容師の仕事は「頭髮の刈込、顔そり等の方法により容姿を整えること」と法律で厳密に定められている。美容師との違いが知りたい人は調べてみてほしい。

弟子入り修行のころ

篠原さんは福井県南条郡今庄町（2005年に合併し南条郡南越前町となる）で生まれた。小さい頃から友だちの髪を結うのが好きで理容師を志すが、当時は父からの反対を

受けていた。しかし、母からは「あんたはあんたの一生やから好きにやればいい」と応援された。叔父が大阪の深江で理容室を営んでいることもあり、17歳のときに大阪へ。理容師としてのスタートをきった。

当時は「就職」よりも「弟子入り」という表現の方が正しいだろう。泊まる部屋や食事などはあるが、給料は出さず、技術を磨くための修行。もちろん理容師免許を取得するまでは雑用しかできず、剃刀を研ぐときによく手を切った。

修行をしながら、通信制の学校で19歳のときに理容師免許を取得した。修行をしながらの勉強は大変だったのではないかと尋ねると「しんどかったけど、ただただ必死だった」と振り返っていた。理容師は5年で一人前と言われていたが、4年目に自分を指名してくれるお客さんが出てきて、親方に一人



前と認めてもらったことを嬉しそうに語ってくれた。

1年間お礼奉公（恩返し）として雇い主のもとに、ある期間とどまって働くこと）をし、新たな技術を勉強するために今里の理容室でも働いた。その際にパーマやカラーの先生をしていたご主人と知り合い、結婚。ご主人の家族が西成で理容室を営んでいたこともあり、1965年に「理容シノハラ」





好きな仕事に就いて

現在でも当時のお客さんが通っていて、中には奈良から来てくれる人もいるようだ。よほど有名店でない限り、新規のお客さんはそう多く来ないだろう。常連をつくることは理容師にとって重要なものであり、生



命線でもある。

理容師という仕事はどんな人が向いているのか尋ねてみた。「この仕事は本当に好きでないといけない仕事と思う。私は髪を切るのも、顔を剃るのも大好き。あのチヨキチヨキチヨキという音を聞くのが本当に楽しい」。

仕事が好きと思えることが何よりの天職なのだろうと感じた。実際に小さなころから好きなことを仕事にしている人はほんの一握り。そのために何より大切なのは、才能だけではなく、自分で好きなことを仕事にする意思と努力だと思う。若干17歳で故郷を離れ、働くことは並大抵のことではない。辛いことも大変なこともたくさんあっただろうが、篠原さんが当時の話をずっと笑顔で話していたのが印象的だった。

篠原さんが一番好きな髪型は角刈りだそう。好みという

わけではな

く、角刈りにしてほしいと言われると理容師魂に火がつく。サイドとバックがとても短い髪型だが、あえてバリカンを使用

せず、はさみで丁寧にカットする。バランスを見ながら長さや調整することができ、相応の技術も必要だ。それを丁寧に仕上げるのがプロの技。顔そりも人の顔は平らではないので、かなりの技術が必要。顔にできないもの等があるときは特に気をつけるそう。

お客さんとの会話は楽しい

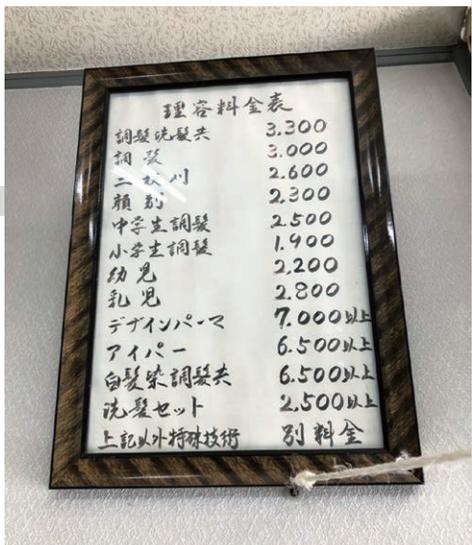
施術時のお客さんとのコ

で勉強になる。たまに話聞きすぎて手が止まってしまうことがあるけど。」「手止まるんかい!」と思わず突っ込んでしまったが、確かに、聞き上手・話を聞くのが好

きというのは理容師に適しているのかもしれない。私だけかもしれないが、髪を切ってもらっているときはなぜか話しやすく感じる。自分の後ろにいる人に振り向かず話すとい

うシチュエーションは髪を切るとき以外にあまり思いつかない。人間の心理としてそんなことも関係あるのだろうか。新型コロナウイルスの影響は飲食店だけでなく、実は理容業にも影響が出ている。1か月に1回の頻度で来ていたお客さんが半年に1回しか来なくなったりすることもあった。今後の不安もあるだろう。「コロナの心配もあるし、わたしも年齢的にいつまでできるかなと思うことがある。でもお客さんや近所の同業者の人から『辞めたらあかんぞ!』とよく励まされる。髪を切るのは今でも楽しいし、旦那とお義父さんがやってきた店を守らなあかんと思っ

て働いている」。最後に理容師人生で最も心に残っているエピソードを語ってもらった。「ずっと一緒に仕事をしてきた旦那が8年前に亡くなったときに辛くて



ミニコミュニケーションもまた理容師には重要なスキルだ。お客さんの中には話しかけないでほしい人もいるだろうが、シノハラ理容のお客さんは話好きな人が多いらしい。色々な人が来るので会話も大変ではないか。「人の話を聞くのが昔から好きでな。お客さんとの話の中で人生のことや仕事の話をたくさん教えてもらった。自分は経験してへんけど、実際に経験したような気持ちになって、ほんま

店を閉めていて、家に閉じこもっていた時期があった。仕事を辞めようかなとも思った。そのときに常連さんに言うてもらったことはいまだに覚えている。「いつまで店閉めとんねん!」オレの頭見てみい!」って伸びまくった髪で言うてきてな。他の店で切らんと、私が店を開けるまでずっと待っていてくれたことがすごく嬉しかった。この言葉でまた仕事を頑張ろうとも思えたり、今も続けることができている」。

技術を提供する職業の理容師。ハサミは何かを切るための道具だが、職人が使うと人との関係を結ぶこともできる。

理容シノハラ

営業時間：8時30分～18時
定休日：毎週月曜、第一・第三火曜
住所：大阪市西成区長橋2の6の23
TEL：06-6561-5184

文責：山村裕太

ナイスの仲間たち

西成の地域課題や社会問題の解決に挑戦してきたナイスは、来年で創業25周年を迎える。この世代交代の転換期に当社は何をめざすべきだろう。現場で各事業を牽引するリーダーたちに問いかけてみる。

IT事業部 VOL.05 沖田 一志さん



まちづくり会社にIT事業？いや、もはや無くてはならない立派なインフラ事業。入社以前からこの地域のいろんな仕事を支えてきた沖田さんの、仕事への思いを聞いた。

Q ナイスとの出会い・事業発足の経緯は？
A 以前勤めていたIT関連の会社で、この地域を担当していました。ところが前職企業の経営方針の変更から、その業務を手放すことになり「中途半端は嫌だな」と考えていました。

一方で、ナイスも地域住民のデジタル・デバイス（情報格差）の解消、地域でのITの普及、ICTリテラシーの育成という想いがあつたようです。お互いの想いがマッチしたことで、ナイスに転職。2006年にIT事業部を発足しました。事業部といってもスタッフは一人で、目の前の仕事をこなすので毎日精一杯でした。

Q 主なお仕事は？
A IT事業部では、OA機器の販売、システム開発、ネットワーク構築や各種保守点検など、いわば「IT関連の何でも屋さん」です。システムや機器の導入後のアフターフォローでもワンストップで行います。企業からの仕事に限らず、「メールが届かない」、「スマホの設定がわからない」など、個人の気軽な相談にも応じます。個人・法人



問わず、地域や住民の困りごとをサポートしています。

Q 印象に残った仕事はありますか？
A やっぱり難しい仕事を成功させたときです。大手会社は、リスクの高い案件や面倒な小口案件は断られるとよく聞きます。お客様からの依頼は相談・困りごとと捉えています。困難な案件は時間も費用も要

します。それでもお付き合いの長いお客様に安心を提供できた時や迅速な対応ができた時は「良かった」と思えます。

Q 仕事で大切にしていることは？

A お客様のニーズを最優先に考えることです。こちらが売りたい「もの」を売るのではなく、本当に必要な「こと」は何かを考えます。

例えば、新商品の導入を積極的に推奨するばかりでなく、少々古いものでも安全に使えるなら、お客様の使い慣れたものを奨めます。前職の経営者の言葉を借りると、利益は必要なので「お客様…自社49…51」ぐらいで考えないといけない。良い仕事を継続させるためにも大切なことだと考えています。

そこで、はじめから断るのではなく、一度試してみる。そんな柔軟な動きができるのは、その一時的利益を求め過ぎるのではなく、長くお付き合いいただき、その長いスパンでいつかプラスになればいい、と考えているからです。お客様で、前職の頃からお付き合いいただいているお客様も多いです。

Q 客さんに寄り添う姿勢が支援に通じるように思います。ところで、ゆくとあいでコロナのワクチンや助成金の申請を代行しているのと、地域のITリテラシーや情報格差が気になりました。

A たしかにそうですね。ただ、パソコンやスマホがこれだけ普及したといっても、抵抗感のある方もけっこう多く、必要に迫られないと自身でリテラシーを高めるのは難しいでしょうね。

今はまだ、その出来ない部分をこちらで引き受けたほうが現実的だと思います。だからこそ自社納品した製品・システムのアフターフォローは手厚くするよう心掛けていますし、それを感謝いただけるのはありがたいことです。

Q 会社やスタッフへの思いを聞かせてください。
A 共に働くスタッフができ、お陰で仕事の幅も広がりました。人にも恵まれ、みなさん大事にしてくれました。お客様が困るのが一番気になるので、仮に私が動けなくなったとしても、IT事業部は続けて欲しいです。

今は練習に使える機材もあるので、技術をどんどん上げて、少しでも今より出来る仕事を増やしていつか欲しいと思います。

取材を終えて

一貫してお客様思い。ITという特別な技術を持ちながら、常に真摯な姿勢で臨まれる姿が、お話を伺う中でも垣間見える人。この姿勢を持ち続けるのが、きっと何より難しいのだと感じる。その為に自分にも曲げられない何かを持たなければ。

文責..安田拓也・福井龍磨



IT事業部

- 住所：〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-9 ゆ〜とあい2F ●TEL：06-6563-1150
- 営業時間：月～金曜日 9時～17時40分
- 定休日：土日・祝・年末年始



【谷口円】ノーコードでWebサイト制作ができるツール「STUDIO」を初めてさわってみました。噂に違わぬ使いやすさ！これなら気軽に楽しく、小洒落たサイト制作ができそう。



【田岡秀明】去年の流行語に「親ガチャ」がノミネート。教育を親の「課金ゲーム」と表現した漫画も。充分な課金はできていないけど、ハズレじゃない親でありたい。



【沖田一志】業務用ルーターやWiFi、スイッチなどは納期未定ばかりで入手不可能なものばかり。パソコンは汎用機なら今のところ入手可能な状態。年度末に向けて影響が大きくなりそうな予感。



おかの ため息

- おかん はあ…。もう今年も1カ月経ったなあ。光陰矢の如しやな。
- ◆ 息子 新年のあいさつも遅れてしまったね。読者のみなさん、今年もよろしく。
- よろしく。ところで、あんた、憶えてるかな。小学校で1コ上やった早智さん。重度の障がいがあって車いすです通学した子。
- ◆ ああ、おぼえてるよ。
- お父さんとおじいさんの三人で暮らしてはってんけど、4年ほど前に施設の相談員さんの紹介で、ベッドとオムツを納品するようになってん。
- ◆ へえ。
- けど、その頃から入院したお父さんに代わって妹の美恵さん（早智さんの叔母）が面倒看ることになってね。それから月1回、納品のときに美恵さんとお話するようになってん。
- ◆ 何かあったんか？
- ここ2年ずっとコロナで大変やったやんか。その間に早智さん、4回も「濃厚接触者」になってんて。
- ◆ え？！それは大変そうやな。感染はしなかったんか？
- そうやねん。陽性になったことは1回もなかった。けど、出入りしている施設や業者さんが陽性になって、そのたびに「濃厚接触者」として2週間、隔離状態になってんて。
- ◆ じゃ、ヘルパーさんも来れなくなったの？
- そう。早智さんの後見人になってる美恵さんがヘルパーさんの代わりに食事介助してはる。
- ◆ その最初のきっかけは何やったんかな？

- 4年前にお父さんの病気がわかって入院する前に、妹の美恵さんに早智さんの世話の仕方を徹底的に教えたんやって。言われるままに全部メモしたらしい。
- ◆ 美恵さんも右も左もわからずに大変やったろうね。
- で、お父さんの入院と重なって、早智さんも肺炎で入院になって。その時がいちばん大変やったらしいわ。
- ◆ そら、不安やろうな。
- でね、病院から「治療のために気管切開しなくてはいけないから」って判断を迫られて。でも、早智さんには他にもいろんな病気があるらしくって、何がなんだかさっぱりですごく困たらしい。
- ◆ で、どうしたん？
- 結局、症状が軽くて切らずに済んだみたい。
- ◆ そら、よかった。早智さんをお世話することになって、美恵さんの生活もガラッと変わったやろうね。
- 早智さんの後見人になるために住民票もこっちに移してるんやって。
- ◆ じゃ、美恵さんのご家族は？
- 子どもはみんな成人してるし、息子さんが家事をしてくれてるらしい。
- ◆ ダンナさんはどうなんやろう？
- よく電話してきて、時々、喫茶店に行こうって誘ってくれるって。
- ◆ 理解のあるダンナさんなんやろうね。
- けど、美恵さんは「もう、うるさいねえん」って。照れ隠しなんかな？
- ◆ 美恵さんとはずいぶん打ち解けてるようやね。
- 月に1回しか会わへんのに、いろんなことをしゃべってくれるんよな。
- ◆ なんでやろう？
- たしかに他の業者さんは短い間にたくさん仕事があって、話をする余裕がないのかも。
- ◆ あんたは納品だけやもんな。
- そうや。けど、美恵さんといろいろお話をして、それで一息ついてくれるんやったら嬉しいわ。知らんけど…。

つぶやきます。*本文は関係者各位の許可をとって掲載しています。

melody of smiles



ビニール袋で作った自分たちの凧を公園で一生懸命飛ばしました♪ かぜより速く走って上手く飛んだかな？ “Look! My kite is flying! (見て！僕の凧、飛んでるよ！)”



たぐの 3くふうたま

豊 間

生の感動

ハナレバナレになった人とまぢ。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

オンラインショッピング、SNS・電子書籍。気づかぬうちにデジタルにどっぷりと浸かっている。圧倒的に便利なのだ。電子書籍に売り切れはない。紙派や映画館派など好みは十人十色。けど、リアルが無くなることはない。僕はやっぱりホール派。音楽の話。

楽器を始め、音楽を生で聴く機会が増えた。ネットは便利過ぎて参るが、情報の量と質は別物。音は機械を通した時点で、ある音域以上は止むなく切り取られ、音の肌理が荒くなる。音を発する良い楽器（声を含む）は、例えばラの音を鳴らすと、442Hz（ヘルツ）のラだけが鳴るのではなく、その倍音（整数倍の周波数の音）が共鳴する。

その音は人間の耳には聞き取れないが、空間を包む音の豊かさとして感じられる。それをイヤホンから得るには限界があるのだ。

ホールデザインやアプローチ空間もホール派の楽しみの一つ。瞬間に消えてなくなる時間芸術。演奏家はその瞬間にける情熱をビリビリと感じて、帰路は興奮冷めやらぬ。

（安田拓也）



きわむ空間



【安田拓也】年末は岸和田の日帰り温泉へ。元旦は実家で食事をして住吉大社横の神社へ。2日は音楽鑑賞の後、天満宮に。そして8日は楽塾で阿倍野の神社3軒を梯子。初詣とは？今年も節操なさそう。



【福井龍磨】東京行きの新幹線に乗ってしばらく走ると、彦根から関ヶ原にかけて雪景色が広がっていた。白く染まった伊吹山を眺めながら、その向こうに広がる北国の、静かで厳しい冬について考えた。



【西原夏美】年末年始はどう過ごされましたか？私はいつも通りゲーム三昧でした。新年入っても仲いい友達と通話しながらだったのでいい新年が迎えられたと思っています。



【西田吉志】今年の初詣でのおみくじは「半凶」だった。その後、2回目のお詣りで「大吉」、3回目は「大吉」でよしとした。今年は何事も気を引き締めて行動しなさいということですね。

葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



「おどり葉牡丹の葉っぱ」の巻

キャベツさんですよね？
 ……ちがいますよ。
 あれ？じゃあレタスさんでしたっけ？
 ……ちがいます。
 あら？それなら芽キャベツさんでしょ？
 ……ちがうよ。
 そうそう、白菜さんだった。
 ……もう、ちがうって。
 かなしいけれど間違えられてばかりの私。
 そんなに私って美味しそうに見えるんだ。
 そう思ったら笑顔になれた。
 でも食べないでね。

赤井まゆみ

おどり葉牡丹のこと

原産はヨーロッパでアブラナ科。重なりあった葉が牡丹のように美しいから葉牡丹という名前になったとか。花言葉は「祝福」「利益」

い湯がげん

人権は後回しする問題ではない

以前この場で、先の衆院選での心残りの一つが夫婦別姓等人権課題の論戦が不完全燃焼だったこと、そしてそれが辻元清美さんの議席を失った一因でもないかと書いた。ところが、一般の選挙論評は「人権の論戦には国民の関心は低かった」「コロナ禍で人権優先はないだろう」ともすれば人権は高所得の有権者の趣味に思われた」と酷評した。野党候補にも「タブーをあえて語る」ととき論調も見受けられた。さっそく、選挙直後の武蔵野市の「外国人住民投票参加条例」に、何故か国会議員が介入し、維新も国民民主党も自民党に同調し、立憲民主党は熱心でなかった。ついに市議会を否決にひっくり返してしま

った。続いて、緊急事態条項を理

由にした改憲議論も始まった。ボクには、人権後退の連鎖に見える。夫婦別姓やLGBT法制定の絶好のチャンスで、さらには生活保護法の扶養照会条項の停止もできると衆院選の論戦に期待していたから、人権は衆院選最大の忘れ物だと思っ

た。夫婦同姓の強要は、女性を非正規雇用に導いているし、経済活動を鈍化させているという指摘はいまや常識でもある。同じく扶養照会が悪しき身元調査となつて、生活保護の捕捉率を制限しているというのも常識に近い。だけど、政治にはもつと深い論点が求められているのだと思う。夫婦別姓には戸籍制度が壁になって

の扶養義務を明記した民法が足枷になっている。いわば伝統的な「家意識」とそれを是認する法制度が女性の人権を制限し、生存権さえ脅かしている。

この価値観の違いが与党と野党の違いの最初のボタンだと論議する政治を、ボクは期待した。そうすると自民党にあつても野田聖子さんの価値観は野党の側に、野党の中でも維新の馬場共同代表等は与党の側になる(橋下時代は明快に野党側だった)。与党も野党も政策議論の過程ではガラガラボンになり、世論や院外活動もコミットできる、それが政策実現のダイナミズムだ。

話は変わって大阪のこと。かつて維新は突如、西成特区構想をぶち上げた。知事と市長が揃い組であり、ん地区に入り、批判者も多い住民との長時間の議論をやった。そして選挙戦では、今までの市長はあいりん地区を素通りするだけだった。民主党系の平松市長もそうだった」と演説した。あいりん地区の人権問題が一気に市政の真ん中に据えられた。学校のクーラー設置や芝生、給食間

皮算用 胸算用

新しい年を迎えて、オミクロンといった新たな変異株による感染が拡大している。沖縄県をはじめ日本各地で蔓延防止対策がとられることになった。3年目になる新型コロナとの闘いも大阪府の方針に従いつつ粛々と進めなければならない。

さて、今年で5年目を迎えた「ゆ〜とあい」は初めての試みを行った。西成区長や区選出の議員、長橋・北津守・松之宮の地域関連団体の皆さんなど、地元行政に携わる方々を招いて、民設・民営隣保館の役割や現在進めている事業を紹介する式典の開催である。地域福祉事業との関連性やこれまでの地域社会資源との連携などを具体的に取り上げ、西成区全体の地域共生社会の実現に向けた隣保館の役割を提案したが、思いは伝わったのだろうか。豊かな政策議論の場を見据えて、取り組みを進めていくばかりである。

(寺本良弘)

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



題、バウチャー制度等をぶち上げ、「福祉は高齢者だけのものではない」と演説した。人権はけっして経済より後位でも、小さな問題でもない政治を動かした。人々は維新の言う「改革」に、次は何を粗上に載せるだろうと期待を寄せた。

ボクは、長い経験からか、人権を後回しにしてしまふ政党や政治家に過敏になる。自民党はそういう政党で、野党にこそ人権は宿ると期待してきた。維新もいまや与党化し過ぎて人権に鈍くなってきたと心配する。夫婦別姓もLGBT法も生活保護の扶養照会停止も、いまやるべきテーマだ。立憲民主党には期待したが、衆院選では肩透かしされた。維新にも立憲民主党にも、もう一度期待したい。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 年末、「これこれ」と厳しくも懐かしい寒さを感じた一日があった。年明けにも雪がちらついてたが、比較的穏やかな寒さがつづいている。大阪に住んでるせい？ それとも地球温暖化？



[山村裕太] 先日友人が「会話に困ったら天気の話は最強」と言っていました。後日、その友人と会った際の第一声が「今日めっちゃ天気ええな!」。なに困っとんねん。

地域の縁を心でつなぐ



心の時間

「光陰矢の如し」早くも二月を迎え、月日の経つ早さに「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と先人の言葉を思い出します。満中陰(四十九日)法要にての話。

ご遺族に「今日までの時間を早く感じましたか?それとも遅く感じましたか?」と尋ねると、早く感じたとお答え。それを受け「時間は心で感じるものと言われています。だから悲しみで心を痛めると、時間の感じ方が以前と変わって当然。早く感じるならそれで良いです。用事に気が紛れて、早く過ぎたと感じたのでしょうか。用事も心の薬になります。逆に遅く感じる時、心が凝り固まり、長く苦しい時間が続くかも知れません。しかし『日にち薬』と言うように、月日が心の薬となり、必ず苦しみはおさまってきます。」とお伝えしました。

平等に与えられた二十四時間も「感じ方」で長さが変わり、「使い方」で「豊かな人」「貧しい人」に分けられてゆくように思えます。もちろん「豊かな人」とは「社会的成功を収めた人」だけではなく「心が満たされた人」のことを意味します。

松向寺 通法

ココドコ

ココはドコ?
わたしはゆ〜れ?
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開!

太陽の動きで変わる影を利用した時計、いわゆる日時計です。周辺を見ると公園のようですね。ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで! 正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は2月末日、ふるってご回答ください!

【先月号の答え】 鶴見橋商店街となにわ筋の交差点にある、河内屋さんの壁でした! ウィンクした牛がラブリーです。



2021年5月撮影



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか? お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 2月号(vol.180)
発行日:2022年2月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司
編集:沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

